

学校視察研修報告

- 1 訪問者 米内山壮之 (生徒指導部長)
- 2 期 日 平成 28 年 2 月 2 日～2 月 4 日
- 3 視察先 千葉市立稲毛高等学校・千葉市立稲毛高等学校附属中学校 (2 月 3 日 9:00-11:00)
筑波大学 (2 月 3 日 14:00-18:00)
千葉県立千葉東高等学校 (2 月 4 日 9:30-11:30)
千葉大学 (2 月 4 日 12:30-14:30)

千葉市立稲毛高等学校 (偏差値 67)・千葉市立稲毛高等学校附属中学校

高等学校 開校 昭和 54 年
課程 普通科(7 クラス)・国際教養科(1 クラス)

附属中学校 開校 平成 19 年
生徒 2 クラス

- (1) 平成 19 年度より中高一貫教育が行われ、稲毛高校は激変した。中高が一体となった一つの学校。共通の校務分掌・共通の行内体制の下での教育活動を展開。生徒の学力も向上し、今では現役で東大合格者を排出するほどにまでなった。
- (2) 7 : 30 より、0 時限授業を展開。その後、朝学習、SHR、1 時間目の授業を行う。朝学習は、学年の当番の先生が教室に行く。
- (3) 国際交流—国際教養科がありことにより、いっそう国際交流は盛んである。アメリカ・カナダとのつながりが強い。HR や英語の授業はすべて英語で行う。また、第二外国語があり、生徒は中国語、フランス語、ドイツ語から選択する。
- (4) 語学の授業は少人数制。語学をいかし、早稲田大学国際教養学部や国際教養大学(秋田)へ進学する者も増加傾向にある。
- (5) B r i t i s h H i l l s (福島県) への英語合宿 (毎年) 2 泊 3 日

筑波大学 体育専門学群

- (1) 筑波大学 教授 博士 合田 宏 先生よりコーチ学のお話を拝聴する。
- (2) 筑波大学 助教 藤本 元 先生よりトレーニング科学に関する実践的な取り組みを見せて頂く。

千葉県立千葉東高等学校（偏差値 70）

開校 昭和 16 年

課程 普通科(9 クラス)

- (1) 千葉大学との連携—千葉大学の先生が、千葉東高校へ来校し教室で授業を行う。また、千葉大学で行われている講義に、千葉東高校の生徒が参加する。(双方とも千葉東の習得単位)
- (2) 月曜日～金曜日まで、45分7時間授業。
- (3) 国際交流—アメリカ・オーストラリアの高校と交流、ホームステイ。国際交流新聞発行
- (4) 部活動も盛ん。特に山岳部は全国大会 17 年連続出場。
- (5) 学校祭は 2 日間。伝統行事は 3 年生のミュージカルで 2 日間で、観客が 6000 人になる。

千葉大学

- (1) 国際交流が盛んな大学 留学生が多数。「イングリッシュハウス」では英語による会話のみのスペース。
- (2) グローバル人材育成プログラム
- (3) アカデミック・リンク（最新型付属図書館）は学習空間とコンテンツ・ラボとティーチング・ハブを組み合わせで作られている。
- (4) 全国唯一の園芸学部の充実。

研修の成果

- (1) 高校では、各高創意工夫をこらし、生徒の充実した生活そして進学指導を行っている
- (2) 高大連携の可能性の大きさを感じた。高校生の視野の拡大。大学留学生の、高校への講演。異文化理解。
- (3) 附属中学の可能性、そして、高校への学力向上への影響。
- (4) SSH、SGHの取り組みの意識。
- (5) 国際交流。どの学校もグローバル人材養成のため、海外交流を行っている。